

学会彙報

(昭和五十八年六月)

昭和五十九年一月)

於 三一〇三教室
研究発表

如來と言葉—中論第二十二章より

博士課程三回 中野 素

注維摩における學註と生註について

の一考察 助教授 古田 和弘

◇公開講演会

十二月八日午後四時

於 聞思講堂

講師 荒牧典俊 大阪大学助教授

講題 瑜伽行派の修行道体系の展開と

転依思想について

引き続き第二会議室において懇談会が

持たれ、熱心な議論が闘わされた。

◇昭和五十八年度

修士論文・卒業論文梗概発表会

一月十九日午後四時

於 三一〇三教室

本年度の論文提出者の中から二十三名

がそれぞれの論文要旨を発表した。

*卒業論文

◇學術懇談会

—Dr. N. A. Jayawickrama を開

んで—

六月八日午後二時半

於 三一〇三教室

講題 アッシューカ碑文と第三結集

講演に引き続き第三会議室にて懇親会

が持たれ、活発な意見の交換があった。

◇公開講演会(真宗総合研究所協賛)

十月二十六日午後三時

於 三一〇三教室

講師 Dr. Jan W. de Jong, Professor

of Australian National Uni-

versity

講題 "Recent Buddhist Studies

1973-1983"

学外からも多数の来聴者を迎え、広い

教室が熱気に包まれた。

◇研究発表例会

十月三十一日午後四時

※リポジトリ非公開

※リポジトリ非公開

*修士論文

※リポジトリ非公開

発表会后、学内食堂に於て懇親会を開いた。諸先生より労いと励ましの言葉があり、感慨の深い会となった。

梗概発表後、同教室にて仏教学会臨時総会が開かれ、会則の一部(第四条)変更が提議され、承認を得た。

編集後記

山有榛、隰有苓、云誰之思 西方美人
彼美人兮 西方之人兮 (詩経・国風)
山には榛があり、隰には苓があるよう

に、おのおのその所を得て、西方に美人あり、と歌われている。

ここに私たちも、西方の美人を讃えて、「榛苓抄」なる一文を載せることとした。処々の碩学の研究の一端なりとも紹介していきたい。

○偉大な業績を残して、ベルギーのラモート教授は逝かれた。白土教授は、一九八二年五月―十月にかけてフランスに招聘され、その折、ラモート教授を訪ねられた。その報告とともに、追悼の意をこめて、フランス仏教学の現状をここに紹介していただいた。

○『維摩』の「如来種」をとりあげる古田論文は、その一語のおかれている意味をあらゆる角度から検討し、一翻訳経典がもっている思想的位置を際立たせて論ずる。仏教学の方法論への言及は、多くの反響を引き起こすに違いない。

○『撰大乘論』を扱う佐々木論文、『大乘莊嚴経論』、また最澄を論ずる、舟橋、山崎の各論文、その他の論稿を掲載した。この度も発刊が遅れたことを深くお詫びいたします。

「佛教学セミナー」バックナンバー発売中

既発行の「佛教学セミナー」のバックナンバーを御希望の方は、仏教学会又は文栄堂書店に申し込み下さい。二冊以上お申し込みの方には送料を当方で負担します(一冊のみの場合、送料50円)。

1~12, 14号品切れ	20号	品切れ(特集号)*
13号	21~24号	600円
15~17号	25~31号	700円
18~19号	32~37号	800円

*第20号は特集号につき、別に単行本として文栄堂書店より刊行(品切れ)。

※既刊号の総目次は本誌26号に掲載されています。

13, 22号は残部僅少です。